

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成23年9月20日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670105198号
法人名	社会福祉法人 陽光会
事業所名	グループホーム サンライト
所在地	鹿児島市川上町570-297 (電話) 099-295-7878
自己評価作成日	平成23年4月10日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成23年7月27日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

本年100歳を迎えられた入居者様をはじめ、平均年齢の非常に高い施設です。高齢化に伴い入居者様の介護度も逐次高くなっています。しかしこのような状況の中で、個々の能力や個性を把握出来るように触れ合う時間を出来るだけ持つよう工夫し、現在出来ていることを地道に継続し、自立支援を行っています。スタッフも、小さな気付きでも共有出来る体制を整え、入居者様に対して出来る限り統一したケアが出来るよう心がけています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

鹿児島市北部の住宅地に立地して、近くには病院、スーパー、コンビニ、銀行などもあり、環境に恵まれたグループホームである。  
法人は他にも介護老人福祉施設・ケアハウス・有料老人ホーム・ディサービス・居宅介護支援事業所を運営して、長年、地域の高齢者福祉の一端を担っている。  
身体拘束をしないケアの取り組みや接遇、利用者の健康管理など、職員育成に向けた法人の勉強会が充実しており、施設の看護師との連携も図られている。  
利用者の安全対策として、ヒヤリハット事例を職員が表しやすい環境を作り、些細な事でも職員の気づきとして記録し、情報の共有と再発防止に向けた話し合いが行われている。また、定期的なかかりつけ医の往診や法人の看護師との連携、訪問マッサージなど、利用者の健康管理が密になされ、家族の安心にも結び付いている。  
運営推進会議は2ヵ月に1回定期的に開かれて毎回、家族が交代で参加するように理解と協力が得られ、全家族に浸透している。  
更に地域との交流を深める取り組みと質の高いサービスの提供を目指しているグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	利用者様が地域の中で安心した暮らしが継続できるように近隣の方々と交流を図り理念の実践につなげている。	地域密着型サービスとしての意義を踏まえた理念を作成している。理念はホールに掲示して職員のネームプレート裏にも明記している。毎週水曜日の定例会時に唱和し、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し廃品回収や行事や集会等に参加させていただいている。	毎週、火曜日、福祉館での集いに利用者を連れて行き、地域の方々と交流に努めている。また、町内の運動会や小学校の運動会などにも参加や見学をしている。近所の方々とは日常的に散歩の際にあいさつを交わしたりして交流に努めており、野菜の差し入れもある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の方々の介護相談や施設見学時等に、認知症の方に対するご家族の介護支援方策の説明等を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では各利用者の個別状況や介護支援状況などを報告しご家族様の意見を職員で話し合いサービスの質の向上に努めている。	民生委員、家族、利用者、職員、行政等の参加を得て2ヶ月に1回開催している。家族は、毎回交代で参加をもらって理解と協力が得られている。ホームの現況報告や行事予定を報告し、ときには誤嚥や感染症についての勉強会も行っている。	

鹿児島県 グループホームサンライト

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村社会福祉協議会の介護相談員聞き取り調査の受け入れを行ったり、分からない事等については質疑や相談等を行っている。	日頃より、連携を図り、協力関係を築くように努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定例会等で身体拘束についての勉強会を実施したり個別ケアの検討会等において話し合いを行っている。また、玄関の施錠は基本的にしない事で統一したケアに取り組んでいる。	日中は施錠などせずに職員の連携と見守りで安全で自由な暮らしを支援している。外出傾向の利用者には職員がさりげなく着いて行き見守っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎週定例会でヒヤリハット検討会を基本に虐待についても話し合い、常に職員同士虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	定例会で権利擁護について勉強会や話し合いを行い、制度の必要な方にはケアマネジャーが活用できるように支援を行っている。		

鹿児島県 グループホームサンライト

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ホーム見学や入所申し込みの際ご家族の話を十分に聞き不安や思いを引き出し、疑問点等については納得頂けるように説明等を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様の面会時利用者を交えご意見やご希望を聞きやすいように自室で面会して頂いたりし、ご意見等については定例会で取り上げ検討している。	運営推進会議に家族が交代で参加している。他にも家族交流会の際や日常の面会時、電話連絡時に職員、管理者が話をする機会として家族から意見、要望を聞き出すようにしている。出された意見、要望については職員全員で話し合っ運営に反映させている。利用者からは日常の会話の中で意見、要望を引き出すようにしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定例会やミニカンファレンス等で職員の意見や提案等を聞く機会を設け運営等に反映させている	職員間で共有すべき内容については申し送りノートの活用と朝夕の申し送り、毎週行われている定例会とミニカンファレンスを利用して情報の共有を図り、職員の意見・提案なども出しやすいように機会を設けている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得に対し支援を行い、取得後は待遇の見直し等実施している。また、職員の希望に応じ部署の移動などもおこなっている。		

鹿児島県 グループホームサンライト

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間事業計画を立て、法人外から講師を招き法人全体の研修を行ったり関連施設や各事業所により情報交換するなど、研修の機会を確保している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の福祉施設の交流を図る目的で、地域の施設等とネットワーク作りのため包括支援センターが中心になり行っている交流会に参加し、情報共有することでサービスの向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所相談や見学時にご家族やご本人様の話をよく傾聴し、思いや困りごとを引き出す雰囲気作りにも配慮し安心して頂けるように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>見学や入所相談時にご家族様の話を良く傾聴したり担当ケアマネからの情報等により不安や困りごとを傾聴し、信頼関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談を受けた時に必要なサービス内容を検討し、入所の際にサービスを受けられるように対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居者様に、昔ながらの料理の作り方や行事等の風習を教えて頂き知恵をお借りしている。また、入居者様ができることは一緒に手伝って頂いている。</p>		

鹿児島県 グループホームサンライト

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事に参加して頂いたり、面会に来て頂いたりし、入居者様と共に過ごす時間を多く持って頂き、喜怒哀楽を共にして頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出や面会などで外部とのつながりを維持し、昔馴染みの知人や友人などと繋がりが続くよう支援をしている。	友人、知人が訪ねやすいように配慮している。また、自宅周辺へのドライブや入居前に利用していたデイサービスに連れて行くなどなじみの人や場との関係継続の支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の関係と出来ることを把握し、お互いが助け合えるように時々席替えを行うなどしている。また仲の良い人同士が寛ぎの時間を共有できるような環境を整えている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入居者様の退去後も転居先を訪問し、必要時ご家族との連絡を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中でご本人の希望を聞いたり、ご家族の面会時にご本人を交え思いを聞いたりしている。	会話の中から思いや意向を把握し、本人本位に検討している。発語が困難な利用者にはこちらからの問いかけで意思疎通を図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所申し込み時にご本人やご家族、それまでの生活環境で関わっていた方々から情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケアプランや身体状況チェック表、業務日誌などに記録を行い総合的に利用者様を把握できるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	週一回の定例会でチーム全体で情報を共有し、利用者様の現在のニーズを的確に捉え計画を作成している。	本人、家族の思いや希望、職員の意見など反映した本人本位の介護計画を作成している。地域密着型サービスとして、地域との関わりやなじみの関係継続の支援などのサービスを取り入れたものや、利用者の生きがいにつながるような楽しみごとを探し出して個別性のある介護計画を作成している。	



鹿児島県 グループホームサンライト

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録や生活経過、ヒヤリハットと気づきの記録を行い個別の状況を把握し必要時プランの変更を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個別の要望に合わせた外出行事や、病院受診・往診時にはご家族の要望に応じ付添を行うなどしている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の催しものに参加し、住民の方々とのコミュニケーションを取り社会とのつながりを得ることで、心身の充実を図っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族の希望により連携先の主治医の受診や往診を実施している。	本人、家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。利用者ごとにかかりつけ医の定期的な往診があり、連携が図られている。また、訪問マッサージを受けている利用者もいる。	

鹿児島県 グループホームサンライト

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の状態を把握し、状態変化を確認した時は必要時連携病院や主治医へ連絡し適切な看護を受けられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は入院先のソーシャルワーカーや医師、看護師との情報交換を行い早期退院の支援を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期の支援について、入居時にご家族と話し合い方向性を決めている。また、必要時話し合いが出来るようご家族との連携をしている。	重度化や終末期に向けたホームの方針は入居時に口頭で説明している。また、必要に応じて医師を交えての話し合いが行われている。急変時の対応についての勉強会は法人の看護師を中心に定期的に行われている。	入居時に口頭で方針は説明しているが文書化したものや記録に残すことはしていない。現在の職員体制でできる最大限の支援を職員全員で話し合っ家族に分かりやすく文書化し、早い段階での話し合いと定期的の確認をするように今後の取り組みに期待したい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定例会で急変時の対応について勉強会を行っている。		

鹿児島県 グループホームサンライト

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回、地域の消防分隊の協力で避難訓練を行い災害時の対応を職員が出来るよう訓練している。</p>	<p>年2回昼夜間想定避難訓練を行っている。近隣への協力要請も進めており、法人の施設との協力関係も話されている。スプリンクラーは設置済みである。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様に関する事を職員間で話すときは、他の入居者様に聞かれることの無いように配慮し個人の尊厳に配慮した声掛けを行っている。	利用者の人格を尊重し、個々に合った声かけや接し方で対応している。 また、定期的に研修を行って、職員の資質の向上に向けて取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	食事や入浴、その日着る服装など日々の生活の中で思いの表出を助け、さまざまな事柄を自己決定出来るよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	レクリエーションの参加や散歩など日々の活動についてその都度確認し、ご利用者の希望にそった援助を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	起床時に鏡を見てご本人が容姿を整えられるように支援し、服装もご本人の希望をうかがっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を作る際は入居者様の好む食材や希望を取り入れている。食後には入居者様と職員と一緒に後片付けを行っている。	煮物の味見や食材の調理方法などを利用者に教わりながら行っている。個々の力量に応じてできることは手伝ってもらえるように支援している。ときには、お弁当持参で花見に出かけることもある。	

鹿児島県 グループホームサンライト

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分チェック表を記録し、摂取量を把握している。必要に応じた量を摂取できるように支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時や毎食後に口腔ケアの支援を行っている。自身で出来ない方は職員が介助している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を記録し、個人の排泄パターンを把握し排泄の援助を行っている。また、日中と夜間では使用するパットを変え自立に向けた支援を行っている。	入居時、おむつ使用だったがトイレでの排泄が可能になった利用者もいる。排泄チェック表で排泄のパターンを把握してトイレ誘導している。自立している利用者も数名おり、夜間のみ身体状況に応じてポータブルトイレ使用の利用者も若干名いる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	野菜・根菜の摂取やお茶の時間を工夫するなど十分な水分摂取を支援している。また、医師の指示による内服コントロールを実施している。		

鹿児島県 グループホームサンライト

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎日入浴出来るよう準備している。ご本人の体調や希望に応じ入浴のお声を掛け、個々に応じた入浴の支援を行っている。	個々の希望に応じて時間帯や毎日の入浴など可能である。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人の希望により、居室やソファで休息の時間を取っている。就寝時間は決めず、各々の生活習慣に合わせて休んで頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師より処方される薬の説明書をファイリングし職員は確認している。服薬後は状況を見守り、状態変化等の把握に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各自の情報により得意なことを把握し、職員と一緒に生活や活動を行っている。また、レクリエーション等に各自の得意分野を取り入れている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	状態やご本人の希望により個別に外出している。また、日常行けない場所等は法人の協力を得て出かけられるよう支援している。	日常的には散歩、ドライブ、近くのスーパーへの買い物などで戸外に出かけられるように支援している。季節ごとの花見や法人の施設での行事見学に出かけることもある。	

鹿児島県 グループホームサンライト

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>一緒に買い物に行ったり、希望により買い物をしてきたりしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご本人の希望により電話を取り次いだり、希望があれば手紙を読み上げたりしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>フロアから見渡せる中庭の自然光を利用し、四季を感じられるような工夫をしている。トイレや浴室は安全とプライバシーに配慮した場所に設置してある。</p>	<p>共用空間は落ち着いた雰囲気がある。ところどころにソファがおいてあり、利用者は思い思いの場所で時間を過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>フロア内にソファを数個設置し、それぞれが思い思いの活動ややすらぎの時間が過ごせるよう工夫している。</p>		

鹿児島県 グループホームサンライト

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入所の際にご家族に説明を行い、入所以前にご自宅で使用していた馴染みの物を持ってきて頂きご本人が安心して過ごせる環境作りに努めている。</p>	<p>テレビ、ラジオ、椅子とテーブル、タンス、家族の写真、人形、時計など好みのものが持ち込まれ居心地良く過ごせるように工夫している。各居室に洗面台が設置されているので利用者は居室で歯磨きや身だしなみを整えている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ご本人が理解できる表示や、手すりなど設置し、安全に活動できる環境を整えている。</p>	/	/



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) ✓	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホームサンライト

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホームサンライト

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない